

事務事業名	新エネルギー推進リーディング事業				会計	一般会計			
H27担当課等名	環境モデル都市推進課	H27係等名	地域エネルギー計画係		事業種別	政策	開始	20	終了
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
	施策	57	社会の低炭素化の推進						
目的	対象(誰・何を)	地域内に存在する未利用の新エネルギー源				対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	利用可能になるよう、飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例によって、事業化、組織化、指導等を行う					地域内に存在する未利用の新エネルギー源		未定
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	検討、稼動が始まった地域公共再生可能エネルギー活用事業数			4	6			環境モデル都市行動計画進行管理事業に移行
	成果指標	地域内における水のエネルギー利用箇所数					2	2	新指標
定性目標									
事業概要	<p>地域住民が主体的に参画する地域エネルギービジネスからの持続可能な地域づくりを行う「分権型エネルギー自治」を推進する。そのモデルとなる、小沢川における小水力発電事業に対し、地域公共再生可能エネルギー活用事業に必要な初期費用について飯田市再生可能エネルギー推進基金によって貸付するとともに、条例支援による信用補完によって円滑な市場からの資金調達を実現させる事業化支援を行う。</p> <p>将来的なマイクロ水力発電事業の事業化のために、実証や現地踏査を通じた課題を抽出し、その解決方法を検討する。りんご並木の風力発電事業についても今後の展開可能性を模索し、機器を維持する。</p>								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会の開催				1 審査会開催回数		1 23回		
	2 小沢川小水力市民共同発電事業に関する地元協議会の実施				2 協議会開催回数		2 15回		
	3 千代地区等マイクロ水力発電事業化に向けた調査検討会の開催				3 調査検討回数		3 9回		
	4 中部環境先進5市等で行われる研究会への参加				4 研究会への参加回数		4 9回		
	5 中部環境先進5市サミットの開催(開催市:飯田市)				5 参加者数		5 90人		
	6 飯田山本おひさま広場整備事業への補助(寄附金を原資とした補助)				6 補助金交付金額		6 1,000,000円		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		20,442	20,827	19,671	6,349	[特定財源] (国)農山漁村6次産業化対策補助金(10/10) (そ)寄附金			
国庫支出金		15,416	11,654	11,561					
県支出金		2,050							
起債									
その他			1,000	1,000					
一般財源		2,976	8,173	7,110	6,349				
人件費計(千円)②		12,043		16,378					
正規職員所要時間		2,950		4,580					
臨時職員所要時間		1,390							
総事業費①+②		32,485	20,827	36,049	6,349				
事業内容・目標達成状況の振り返り	小沢川小水力発電事業においては、地域主体の事業の担い手が決定し、事業体設立に向けた具体的な準備が進んでいる。マイクロ水力発電に関しては、千代地区で地域住民が熱心に実証に取り組み、新たなマイクロ水力発電の地点開発に向けた気運が醸成された。								
改革改善の考え方	①問題点	小沢川小水力発電事業については、地形測量等の支援を実施したが、最終的な経済性判断に至っていない。また、地域団体主体の事業であり、かつ全国的にも例の少ない取組のため、今後の資金調達等の金融機関交渉も困難が予想される。また、マイクロ水力発電についても、実証から事業化へと発展させていく段階にある。							
	②改革提案	分権型エネルギー自治推進のモデルとして小水力発電を位置付け、市の強力な支援によって小水力発電の事業化を支援していく。このため、本事業については、小水力発電の事業化に特化して進行管理する。							